

令和5年度 行橋市教育施策に関する重点的な取組

- ・ 就学前教育と小学校教育の円滑な接続における重点取組
- ・ 学校教育の充実における重点取組
- ・ 学校、家庭、地域の連携・協働の推進における重点取組
- ・ 生涯学習の推進における重点取組
- ・ 文化芸術活動の充実における重点取組
- ・ スポーツ活動の充実における重点取組

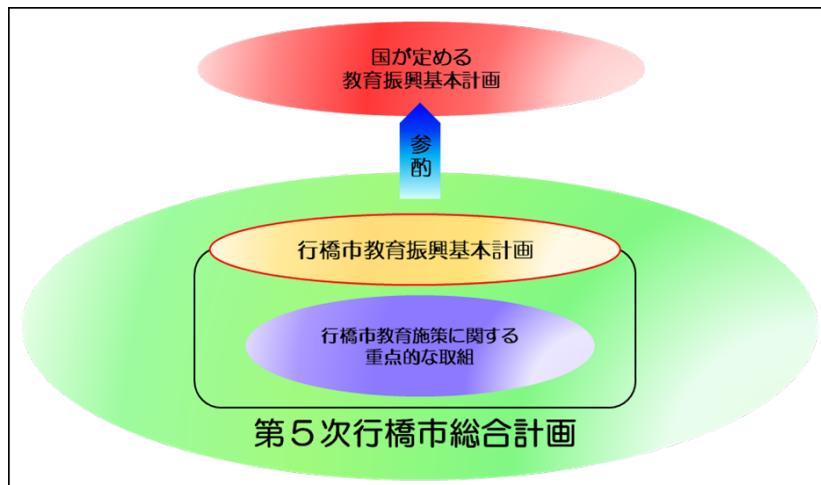
令和5年4月
行橋市教育委員会

はじめに

社会状況の変化や国の動向、これまでの本市の教育施策の取組み状況と課題等を踏まえ、これからの時代における本市教育の基本理念や目標、目指す子ども像・市民像を定めるとともに、家庭教育（就学前教育）、学校教育及び社会教育が連携を深め、教育に関する施策を総合的・計画的に進めていくことを目的として、令和4年3月に「第2期 行橋市教育振興基本計画」（以下、「第2期計画」という。）を策定しました。第2期計画の実施期間は令和4年度から令和8年度までの5年間としています。

第2期計画は、教育基本法第17条第2項に定める「教育振興基本計画」であり、国が定める教育振興基本計画を参酌した本市の実情に応じた教育の振興のための施策に関する基本的な計画で、本市の最上位計画である「第5次行橋市総合計画」を土台とした、教育分野全般に関する教育行政の中心的計画です。

この「行橋市教育施策に関する重点的な取組」は、第2期計画に掲げた施策ごとに重点的な取組として位置づけた取組の目標指標（KGI）を達成するための過程を評価する中間指標（KPI）を設定し、毎年度の達成状況を確認することにより、計画の進捗を管理していくものです。



【基本理念】

学びあい 支えあい つなぎあい

未来を拓く力をはぐくむ 人づくり

目指す子ども像

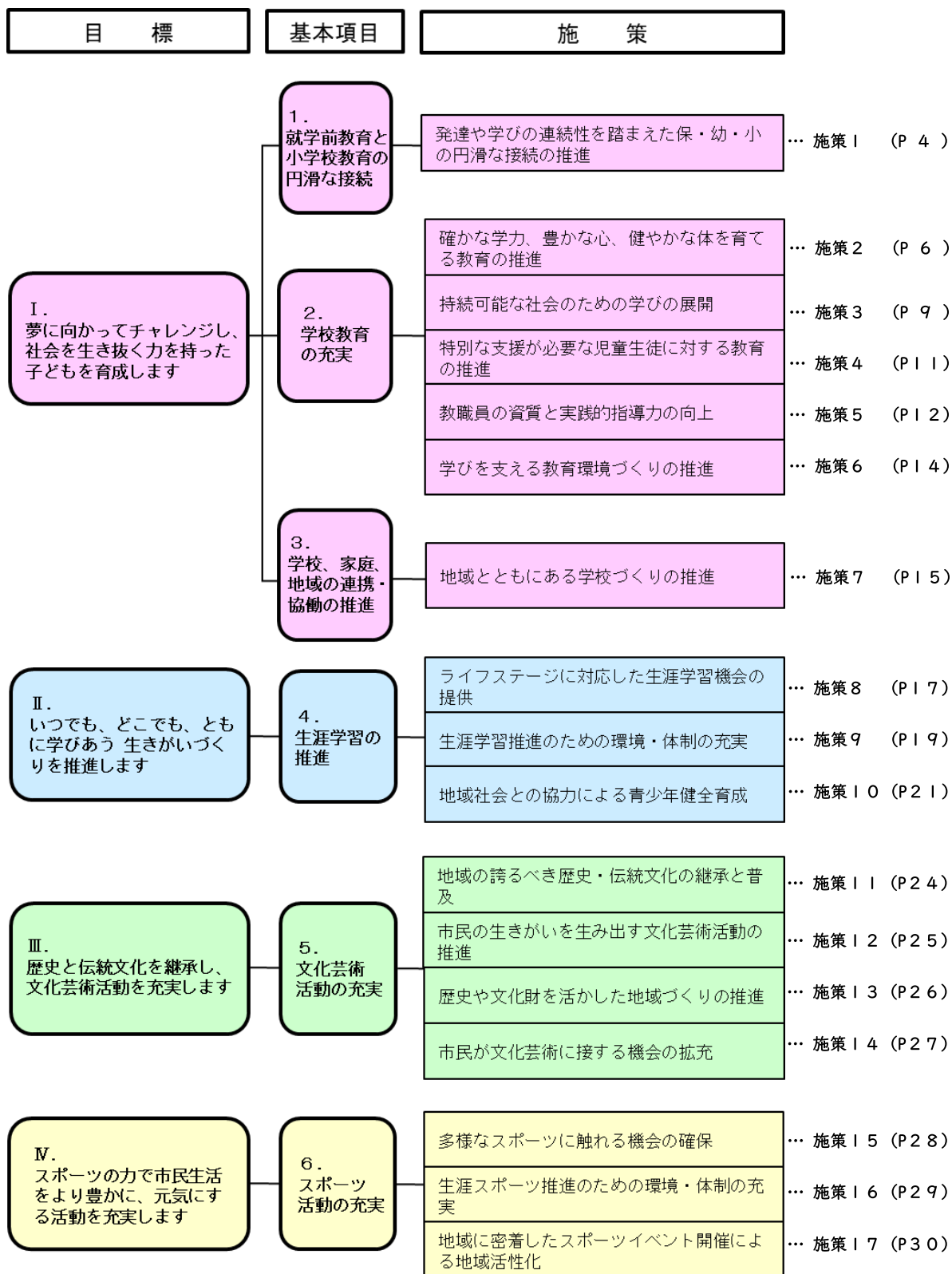
- グローバルな視点を持ち、夢に向かってチャレンジする子ども
- 思いやりの心を持ち、多様な価値観を認めあう子ども
- 「郷土ゆくはし」の良さを知り、誇れる子ども

目指す市民像

- いつまでも元気で、生き生きと活気あふれる人
- 多様性を尊重し、あらゆる世代を通じてともに学び支えあう人
- 地域の自然・歴史・文化に誇りをもち、「郷土ゆくはし」を愛する人

計画の体系

第2期計画の基本理念を実現するため「4つの目標、6つの基本項目、17の施策」をもとに整理、体系化しています。更に、それぞれの施策を構成する取組を整理し、その中で特に重点的な取組（重点取組）として位置付けた取組については、計画の実施期間である5年後（令和8年度）を目標年度とした目標値を定めています。



令和5年度行橋市教育施策に関する重点的な取組

次ページから、令和5年度行橋市の教育施策に関する重点的な取組について、下に示す構成で詳細に説明します。

目標

基本項目

【施策番号】 施 策

施策を構成する取組群

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組(施策番号)-(枝番):取組の名称》

担当課:○○課

【取組内容】

当該施策にかかる各課個別の重点取組について、取組内容を説明しています。

【目標指標】

当該重点取組にかかる目標について、KGI^{※1}及びKPI^{※2}を用いて指標を設定し、令和2年度の実績及び令和3年度から計画実施期間である5年後(令和8年度)を目標年度と定め目標値を設定しています。

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績
K G I						
K P I						

※1「KGI」・・・「Key Goal Indicator」の略称。

達成すべき重要な目標を設定し、その目標の達成度合いを定量的に評価するための指標。

※2「KPI」・・・「Key Performance Indicator」の略称。

KPIはKGIを達成するための「過程」を評価するための中間指標となるもの。

I. 夢に向かってチャレンジし、社会を生き抜く力を持った子どもを育成します

I. 就学前教育と小学校教育の円滑な接続

【施策I】 発達や学びの連続性を踏まえた保・幼・小の円滑な接続の推進

施策を構成する取組群

- ◆特別な支援が必要な子どもに対する支援の強化
- ◆保・幼・小の連携強化
- ◎アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの整備

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組I-1：アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの整備》 担当課：指導室

【取組内容】

- ・子ども支援課と共同実施する各保育園・幼稚園の巡回相談を活用し、指導室と担当小学校主幹教諭、年長担当幼稚園教諭・保育士との協議会を実施し、各園の実態に応じたアプローチカリキュラムの具現化を図ります。
- ・学力向上・ICT活用推進研修会で、各小学校教務担当者に対して、小学校1年生スタートカリキュラムの設定について協議を行い、新入学児童に対する支援体制を確立します。
- ・特に4月・5月における各小学校の実施状況について、研修会を通じて情報交流し、今後のよりよい保幼・小の連携を推進します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 各幼稚園・保育園・認定こども園でのアプローチカリキュラム実施数・小学校入学時のスタートカリキュラム（4月・5月）実施校	幼稚園・保育園の状況は不明 6小学校	4 幼稚園 9 保育園 8 小学校	5 幼稚園 10 保育園 9 小学校	6 幼稚園 13 保育園 11 小学校	6 幼稚園 13 保育園 11 小学校	6 幼稚園 13 保育園 11 小学校
		4 幼稚園 9 保育園 8 小学校	-	-	-	-

指標		R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			目標	目標	目標	目標	目標
			実績	実績	実績	実績	実績
	保・幼・小連携研修会の開催数	2回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)
			10回 (幼稚園、 保育園、 こども園)	-	-	-	-
K P I	特別教育支援アドバイザー派遣数	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期 市内、苅田 計38回 前期・後期	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期	市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期
			市内、苅田 町幼・保 計38回 前期・後期	-	-	-	-
	小学校就学前相談 会開催数	年 1 回 開 催 (42名参加)	年 1 回 開 催 (40名程度)	年 1 回 開 催 (40名程度)	年 1 回 開 催 (40名程度)	年 1 回 開 催 (40名程度)	年 1 回 開 催 (40名程度)
			年 1 回 開 催	-	-	-	-

2. 学校教育の充実

【施策2】確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

施策を構成する取組群

◎確かな学力の定着	
◆学力向上のためのICT活用授業づくりの支援	
◆主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	
◆体力向上のための指導方法の支援	
◆小中連携教育の充実・小中一貫教育の推進	
◆少人数指導などのきめ細かな指導の推進	◆道徳教育の充実
◆郷土を愛する心の育成	◆キャリア教育の充実
◆学校図書室活用の充実と読書活動の推進	
◆保健・安全教育の充実、食育の推進	
◎食を通じて子どもを育てる学校給食事業	
◎アレルギー対応学校給食事業の推進	
◆人権教育の推進	◆組織的な教育相談体制づくり

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

＜重点取組2-1：確かな学力の定着＞

担当課：指導室

【取組内容】

- ・全国学力・学習状況調査の実績値の分析をすすめ、課題のある学習領域について、学力向上・ICT活用推進研修会で、各小・中学校教務担当者に対して共通理解を図ります。
- ・各小・中学校における児童生徒に対する個別最適化された学習支援の在り方について、授業づくりの改善を推進します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 全国学力・学習状況調査の各小・中学校の平均正答率	臨時休校による実施中止	小・国語 66%	小・国語 67%	小・国語 68%	小・国語 69%	小・国語 70%
		中・国語 66%	中・国語 67%	中・国語 68%	中・国語 69%	中・国語 70%
		算数 66%	算数 67%	算数 68%	算数 69%	算数 70%
		数学 66%	数学 67%	数学 68%	数学 69%	数学 70%
		小・国語 65%	-	-	-	-
中・国語 69%						
算数 64%						
数学 48%						

指標		R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			目標	目標	目標	目標	目標
			実績	実績	実績	実績	実績
K P I	小・国語 前年県学テ正答率	57%	58%	59%	60%	61%	62%
			55%	-	-	-	-
K P I	算数 前年県学テ正答率	59%	60%	61%	62%	63%	64%
			59%	-	-	-	-
K P I	中・国語 前年県学テ正答率	55%	56%	57%	58%	59%	60%
			55%	-	-	-	-
K P I	数学 前年県学テ正答率	52%	53%	54%	55%	56%	57%
			49%	-	-	-	-

《重点取組2-2：食を通じて子どもを育てる学校給食事業》 担当課：防災食育センター

【取組内容】

- ・市内17校の児童生徒に対し、衛生管理を徹底した安全安心な学校給食を提供することで、子どもたちの健全な食生活と豊かな人間形成を図ります。
- ・専門性を持った栄養教諭が、各学校の学級担任と連携しながら「食に関する授業」を実施することにより、食への関心を高める食育を推進します。
- ・給食管理の効率化及び食に関する指導の推進のため、栄養教諭等のICT活用力の向上を図ることを目的とした、検討会議を開催し、食に関する指導の支援のあり方について協議を行います。

【目標指標】

指標		R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			目標	目標	目標	目標	目標
			実績	実績	実績	実績	実績
K G I	児童アンケートにおける取り組みの満足度	—	80%	80%	80%	80%	80%
			84%	-	-	-	-
K P I	食育授業対象児童数	約640人	約630人 (全クラス)	全クラス (23クラス)	全クラス	全クラス	全クラス
			全クラス (24クラス)	-	-	-	-

《重点取組2-3：アレルギー対応学校給食事業の推進》

担当課：防災食育センター

【取組内容】

- ・「学校のアレルギー疾患に対する取組みガイドライン」等に基づいた対応による、各工程での適時チェックを推進します。
- ・エピペン®実習研修会を開催し、学校での「アナフィラキシー」症状対応が可能になるよう取組みを推進します。
- ・食物アレルギー対応の「原因食物の多様化」、「対象者の増加」を踏まえ、食物アレルギー対応検討委員会において、食物アレルギー対応について協議・検討を行います。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 誤配・誤食による 事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件
		0件	-	-	-	-
K P I 新規採用教職員等 へのエピペン®実 習研修会参加率	研修会中止 に伴い、エ ピペン®サ イト案内及 び資料の提 供	100%	100%	100%	100%	100%
		100%	-	-	-	-

【施策3】持続可能な社会のための学びの展開

施策を構成する取組群

- ◎グローバル教育の充実
- ◎小中学校におけるICT教育の推進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組3-1：グローバル教育の充実》

担当課：教育総務課

【取組内容】

- ・ALT（外国語指導助手）を小・中学校に派遣し、外国語科（活動）の授業支援や英語教育の充実を図ります。また、日常的に英語に触れる機会を設定することで、異文化理解・国際理解を進めます。
- ・小学生夏休み英語教室を実施し、英語に関心の高い子どもを育てます。
- ・小学校外国語科授業づくり研修会を実施し、中学校英語科教員との小中連携を図り、小学校学級担任の指導力の向上に努めます。
- ・中学生夏休み英語宿泊体験の実施及び中学生国際交流事業により、生徒の英語力を高め、将来、国際社会で活躍する素地を養います。
- ・外国語教育の先進自治体の情報を収集するとともに、英語科の教員と意見交換を継続的にを行い、英語教育の充実に向けた方策を検討します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 英検級レベルが3 級以上の中学校3 学年生徒の割合	53.2%	60.0%	62.0%	65.0%	68.0%	70.0%
		42%	-	-	-	-
小学生夏休み英語 教室に参加した児 童数	中止	40人	50人	55人	60人	65人
		15人	-	-	-	-
K P I 中学生夏休み英語 宿泊体験に参加し た生徒数	中止	15人	20人	25人	30人	35人
		3人	-	-	-	-
外国語の授業・活動 が楽しいと感じて いる児童生徒の割 合	—	60%	83%	85%	87%	90%
		81%	-	-	-	-

≪重点取組3-2：小・中学校におけるICT教育の推進≫

担当課：教育総務課

【取組内容】

- ・これからの社会を生きていくうえで必要となる情報活用能力を育成するとともに、「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、ICT機器の効果的な利活用を含めた授業改善を推進します。
- ・学校での授業や家庭学習など日常的な活用を推進するとともに、自然災害や感染症拡大といった非常時におけるオンライン学習の実施など、子どもたちの学習保障に対応していきます。
- ・学校や教員のニーズに応じた研修を企画するとともに、研修をより多くの学校、教員が参加できるように、実施時期や実施時間、研修の必修化等を検討します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績
K G I ICT を活用した授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	—	80%	85%	90%	95%	95%
		92%	-	-	-	-
教科等の指導に日常的にICTを活用している教員の割合	—	90%	90%	95%	95%	100%
		91%	-	-	-	-
K P I ICTの活用が学力向上に効果があると実感している教員の割合	—	85%	90%	95%	100%	100%
		87%	-	-	-	-
授業でICTを活用することにより、学習の理解度が上がったと感じている児童生徒の割合	—	95%	97%	99%	100%	100%
		89%	-	-	-	-

【施策4】特別な支援が必要な児童生徒に対する教育の推進

施策を構成する取組群

- ◆インクルーシブ教育の推進と充実
- ◆特別支援教育を推進する教職員等の実践的指導力の向上
- ◎特別な支援が必要な児童生徒に対する支援の強化

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組4-1：特別な支援が必要な児童生徒に対する支援の強化》 担当課：指導室 【取組内容】

- ・8月に新入学予定の児童に対する就学相談会を実施し、保護者に対して、今後の学習支援・生活支援に必要な助言を行います。
- ・教育支援委員会を11月の定例会の他、随時実施し、特別支援学級や特別支援学校への入級・入学希望に対する判定を行います。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 支援委員会後の保護者アンケートによる、特別な支援が必要な児童生徒に対する支援への満足度	80%	85%	90%	90%	90%	90%
		85%	-	-	-	-
K P I 教育支援委員会の開催回数	定例1回 臨時14回 (71名)	定例1回 臨時約14回 (70名程度)	定例1回 臨時約14回 (70名程度)	定例1回 臨時約14回 (70名程度)	定例1回 臨時約14回 (70名程度)	定例1回 臨時約14回 (70名程度)
		定例1回 臨時約17回 (100名)	-	-	-	-
すくすく教室特別支援アドバイザーの派遣回数	市内17校 年間101回 (R3.2月時点)	市内17校 年間100回程度	市内17校 年間100回程度	市内17校 年間100回程度	市内17校 年間100回程度	市内17校 年間100回程度
		市内17校 年間97回	-	-	-	-

【施策5】教職員の資質と実践的指導力の向上

施策を構成する取組群

- ◆学力向上のためのICT活用授業づくりの支援（再掲）
- ◆調査研究や授業改善を推進する体制づくり
- ◎教育研究・教職員研修の充実
- ◆教職員の服務規程の適正化
- ◆超過勤務の削減に向けた取組みの推進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

≪重点取組5-1：教育研究・教職員研修の充実≫

担当課：指導室

【取組内容】

- ・教務担当者、新規採用教員、生徒指導担当者、特別支援教育担当者、学校図書担当者等に対して研修会を実施し、各専門領域に必要な情報を提供し、教諭としての資質の向上を図ります。
- ・不祥事防止対策に関係する研修を実施し、保護者から信頼される学校運営を目指します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 保護者アンケート における教師の信 頼度	満足度 70%	満足度 70%	満足度 75%	満足度 75%	満足度 80%	満足度 80%
		満足度 71%	-	-	-	-
新規採用職員研修 会	年 2 回 開 催 (30名参加)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)
		年 2 回 開 催 (36名)	-	-	-	-
K P I 生徒指導主事研修 会	年 2 回 開 催 (30名参加)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)	年 2 回 開 催 (30名程度)
		年 2 回 開 催 (34名)	-	-	-	-

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
外国語授業づくり 研修会	年 2 回 開 催 (50名参加)	年 2 回 開 催 (50名程度)	年 2 回 開 催 (50名程度)	年 2 回 開 催 (50名程度)	年 2 回 開 催 (50名程度)	年 2 回 開 催 (50名程度)
		年 2 回 開 催 (48名)	-	-	-	-
道徳教育推進教師 研修会	年 1 回 開 催 (20名参加)	年 1 回 開 催 (20名程度)	年 1 回 開 催 (20名程度)	年 1 回 開 催 (20名程度)	年 1 回 開 催 (20名程度)	年 1 回 開 催 (20名程度)
		年 1 回 開 催 (22名)	-	-	-	-
子ども読書に関する 研修会	年 1 回 開 催 (30名参加)	年 1 回 開 催 (30名程度)	年 1 回 開 催 (30名程度)	年 1 回 開 催 (30名程度)	年 1 回 開 催 (30名程度)	年 1 回 開 催 (30名程度)
		年 1 回 開 催 (28名)	-	-	-	-
学力向上・ ICT研修の回数	7 回 120名参加	10 回以上 170名参加	12 回以上 200名参加	12 回以上 200名参加	12 回以上 200名参加	12 回以上 200名参加
		10 回 180名参加	-	-	-	-
若年教師研修の回 数(各校に指導主事 派遣)	55 回	60 回	60 回	60 回	60 回	60 回
		60 回	-	-	-	-
新任特別支援研修 の回数	15 回	20 回	20 回	20 回	20 回	20 回
		20 回	-	-	-	-
不祥事防止研修の 回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回
		3 回	-	-	-	-

K
P
I

【施策6】 学びを支える教育環境づくりの推進

施策を構成する取組群

- ◎安全かつ快適な教育環境づくり
- ◆教育ニーズの多様化に対応した学習スペースの充実
- ◆ICT環境の維持管理・運用
- ◆教育環境の充実に向けた活力ある学校づくり

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

＜重点取組6-1：安全かつ快適な教育環境づくり＞

担当課：学校管理課

【取組内容】

- ・学校施設の改修工事については、「行橋市公立学校施設整備総合計画」や、令和3年3月に策定された「行橋市教育施設長寿命化計画」に基づき、計画的に進めていきます。
- ・学校施設の老朽化、機能低下に際し、児童生徒が安全かつ安心して学校生活を過ごせるよう、また致命的な損傷を防ぐために教育現場の意見を尊重した修繕を実施します。
- ・令和4年度の満足度を維持できるよう、学校現場の現状把握に努めます。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 児童生徒へのアンケートにおける学校施設に対する満足度	—	68%	71%	74%	77%	80%
		90%	-	-	-	-
K P I 小中学校施設修繕料執行率	100% (小学校186件、 中学校107件)	100%	100%	100%	100%	100%
		108%	-	-	-	-

3. 学校、家庭、地域の連携・協働の推進

【施策7】地域とともにある学校づくりの推進

施策を構成する取組群

- | | |
|-------------|------------------|
| ◎学校運営協議会の推進 | ◆地域学校協働活動の推進（再掲） |
| ◆家庭の教育力向上 | ◆郷土を愛する心の育成（再掲） |

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組7-1：学校運営協議会の推進》

担当課：教育総務課

【取組内容】

- ・学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもを育成するために、学校運営協議会の発展・充実に支援し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。
- ・ホームページ・市報を効果的に活用し、コミュニティ・スクールに関する周知を図ります。
- ・各協議会での協議や活動が充実したものとなるよう、生涯学習課と連携しながら、指導・助言などの伴走支援を行います。
- ・コミュニティ・スクール推進アドバイザーによる指導・助言、協議会同士の情報・意見交換の場を設定します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 学校運営協議会による連携・協働活動への参加延べ人数	120人 (1協議会)	1,400人 (17協議会)	1,700人 (17協議会)	2,000人 (17協議会)	2,100人 (17協議会)	2,200人 (17協議会)
		1,159人 (17協議会)	-	-	-	-
K P I 学校運営協議会活動のうち連携活動数(※)	(2回)	(34回)	40回	40回	40回	40回
		22回	-	-	-	-
保護者の学校運営協議会の認知率	—	80%	51%	54%	57%	60%
		42%	-	-	-	-

※R5年度から指標を変更。

R4年度の指標は“学校運営協議会活動（連携活動数含む）数”。なお、R4実績は変更後の指標の数値を記載。

《重点取組7-2：地域学校協働活動の推進》
※再掲（P19, 20 重点取組9-1参照）

担当課：生涯学習課

Ⅱ. いつでも、どこでも、ともに学びあう 生きがいを推進します

4. 生涯学習の推進

【施策8】ライフステージに対応した生涯学習機会の提供

施策を構成する取組群

- ◆生涯学習講座・学級の充実
- ◆地域情報発信の推進
- ◎読書活動の推進
- ◆図書館等複合施設（リブリオ行橋）の学校図書館との連携

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

≪重点取組8-1：読書活動の推進≫

担当課：生涯学習課

【取組内容】

- ・リブリオ行橋（図書館等複合施設）を活用し、子どもから大人・高齢者まで多様な人が集い、学び憩える交流空間づくりを行うことで知の拠点施設として市民の教育、学術及び文化の振興を図ります。
- ・ブックスタート事業を4ヶ月児健診時に実施し、乳幼児期から読み聞かせを行うことで、読書との出会いづくりを進めます。
- ・小学生読書リーダー養成講座を実施することで、読書リーダーを育成し、子どもたちの主体的な読書活動の推進を図ります。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 児童・生徒・学生 (10代以下)の図 書貸出者率	—	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
		20%	-	-	-	-
K P I リブリオ行橋来館 者数	190,406人	200,000人	231,000人	234,000人	237,000人	240,000人
		228,066人	-	-	-	-
ブックススタート時 の絵本配布率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		100%	-	-	-	-

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標	目標	目標	目標	目標
		実績	実績	実績	実績	実績
K P I 読書リーダー養成 講座参加率	— (コロナ 禍により 中止)	100%	100%	100%	100%	100%
		86%	-	-	-	-

【施策9】生涯学習推進のための環境・体制の充実

施策を構成する取組群

- ◆生涯ボランティア登録派遣事業の運営
- ◆人権講座の開催による市民人権意識の高揚
- ◆男女共同参画学習の推進
- ◎学校運営協議会の推進（再掲）
- ◎地域学校協働活動の推進
- ◆校区公民館及び地域交流センターの管理運営・利用促進
- ◆学習等供用施設の管理運営
- ◆宿泊型研修施設の管理運営・利用促進
- ◆図書館等複合施設（リブリオ行橋）の管理運営・利用促進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組9-1：地域学校協働活動の推進》

担当課：生涯学習課

【取組内容】

- ・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていくため、地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民、民間企業、団体・機関等、幅広い地域住民等が学校運営協議会と一体的に連携・協働していくことを推進していきます。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 学校運営協議会による連携・協働活動への参加延べ人数	120人 (1協議会)	1,400人 (17協議会)	1,700人 (17協議会)	2,000人 (17協議会)	2,100人 (17協議会)	2,200人 (17協議会)
		1,159人 (17協議会)	-	-	-	-
K P I 学校運営協議会活動のうち連携活動数(※)	(2回)	(34回)	40回	40回	40回	40回
		22回	-	-	-	-
保護者の学校運営協議会の認知率	—	80%	51%	54%	57%	60%
		42%	-	-	-	-

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K P I 地域学校協働活動 推進員の委嘱数	0人	地域の実情等の把握・情報収集のうえで、適切な委嘱数等を検討する	3人	3人	3人	3人
		市内に3校のモデル校を置く方針を決定した	-	-	-	-

※R5年度から指標を変更。

R4年度の指標は“学校運営協議会活動（連携活動数含む）数”。なお、R4実績は変更後の指標の数値を記載。

≪重点取組9-2：学校運営協議会の推進≫

担当課：教育総務課

※再掲（P15 重点取組7-1参照）

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K P I 夜間補導活動実施回数	14回	14回	17回	19回	20回	21回
		24回	-	-	-	-
「青少年の非行・被害防止全国強調月間推進大会」参加人数	- (コロナ禍により中止)	200人	200人	200人	200人	200人
		18人	-	-	-	-

※1：R5年度からKPIに追加。

※2：R5年度以降はKPIから削除。

《重点取組10-2：児童クラブ運営の充実》

担当課：学校管理課

【取組内容】

- ・児童クラブ運営については、業務の委託先である社会福祉法人や民間事業者と密に連絡、連携を図り、利用児童や保護者にとって満足度の高い保育の実施と環境の整備に取り組みます。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 保護者アンケートにおける「児童クラブの運営に満足している」保護者の割合	91%	92%	93%	94%	95%	95%
		90%	-	-	-	-
K P I アンケート項目「行事・イベントに満足している」保護者の割合	66%	70%	72%	74%	76%	78%
		80%	-	-	-	-
アンケート項目「支援員に満足している」保護者の割合	91%	92%	93%	94%	95%	95%
		86%	-	-	-	-

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K P I アンケート項目 「おやつの内容に 満足している」保 護者の割合	78%	82%	84%	86%	88%	90%
		82%	-	-	-	-

＜＜重点取組10-3：学校運営協議会の推進＞＞

担当課：教育総務課

※再掲（P15 重点取組7-1参照）

＜＜重点取組10-4：地域学校協働活動の推進＞＞

担当課：生涯学習課

※再掲（P19, 20 重点取組9-1参照）

Ⅲ. 歴史と伝統文化を継承し、文化芸術活動を充実します

4. 文化芸術活動の充実

【施策11】地域の誇るべき歴史・伝統文化の継承と普及

施策を構成する取組群

- ◎伝統文化の継承及び普及・振興
- ◆伝統文化の地域づくりへの活用推進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

≪重点取組11-1：伝統文化の継承及び普及・振興≫

担当課：文化課

【取組内容】

- ・連歌講座や連歌大会を継続的に開催し、参加者の拡大や指導者の養成に取り組んでいきます。
- ・神楽や地域の伝統行事の保存継承のため、各種支援や情報発信の充実を図ります。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 文化事業参加者における連歌認知度	—	50%	55%	60%	65%	70%
		69%	-	-	-	-
K P I 連歌大会連歌講座参加者数	—	110人	130人	145人	160人	175人
		122人	-	-	-	-
市民講座の開催回数	4回	4回	6回	6回	6回	6回
		4回	-	-	-	-

【施策13】歴史や文化財を活かした地域づくりの推進

施策を構成する取組群

◎文化財拠点施設の活用推進
◆文化財の普及活動の推進

◆文化財の調査と保護の推進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

＜重点取組13-1：文化財拠点施設の活用推進＞

担当課：文化課

【取組内容】

- 本市の文化財施設である「歴史資料館」「旧百三十銀行行橋支店」「守田蓑洲旧居」の来館者の利便性向上を図るとともに、積極的な情報発信に努めることで市民の歴史や文化に対する関心を高め、地域への愛着心を醸成します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 文化財拠点施設に対する認知度	-	70%	73%	75%	78%	80%
		90%	-	-	-	-
文化財拠点施設の入館者数	13,745人	15,000人	16,500人	18,000人	19,000人	20,000人
		17,964人	-	-	-	-
K P I 歴史資料館体験学習スペースの催事件数	—	100件	105件	110件	115件	120件
		118件	-	-	-	-
旧百三十銀行行橋支店の催事件数	10件	20件	24件	28件	32件	36件
		30件	-	-	-	-
守田蓑洲旧居の催事件数	11件	15件	17件	20件	22件	25件
		36件	-	-	-	-

【施策14】市民が文化芸術に接する機会の拡充

施策を構成する取組群

- ◎文化芸術地域活性化事業の充実 ◆美術館の管理運営・利用促進
◆児童生徒へ文化芸術を体験・鑑賞する機会の提供

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

≪重点取組14-1：文化芸術地域活性化事業の充実≫

担当課：文化課

【取組内容】

- ・美術館を活用し、市民が質の高い芸術作品に触れる機会を増やしていきます。
- ・美術館のワークショップ※などを通して、小中学生の文化芸術に対する理解を深め、創作の楽しみを実感する場を提供していきます。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 美術館来館者数	1,572人	3,000人	3,300人	3,600人	3,800人	4,000人
		4,068人	-	-	-	-
K P I 利用者アンケートの 展覧会満足度の 「とても満足・満足」 の割合	92%	98%	98%	98%	98%	98%
		92%	-	-	-	-
小中学生を対象とした ワークショップ※参加者数	10人	55人	70人	80人	90人	100人
		103人	-	-	-	-

※作品制作および鑑賞を行う教育普及イベント

IV. スポーツの力で市民生活をより豊かに、元気にする活動を充実します

6. スポーツ活動の充実

【施策15】多様なスポーツに触れる機会の確保

施策を構成する取組群

- ◎市民参加型スポーツの推進・普及 ◆スポーツ大会などの情報発信
◆ニュースポーツなど軽スポーツの普及促進

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組15-1：市民参加型スポーツの推進・普及》

担当課：スポーツ振興課

【取組内容】

- ・初心者が気軽に参加できる各種スポーツ教室の開催やニュースポーツの競技を種目を含んだスポーツフェスタの開催を行います。
- ・スポーツフェスタの開催月を「スポーツ推進月間」と位置づけ、老若男女を問わず体を動かす1か月として市民へ呼びかけを行います。
- ・スポーツ活動で優秀な成績を収めた市民のためのスポーツ顕彰制度の創設を検討します。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I スポーツ推進月間に 各種スポーツ大会に 参加した人数	822人	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人	2,000人
		1,401人	-	-	-	-
K P I 市報、ホームページ、 SNS等を活用した「ス ポーツの日」の広報 回数	0回	2回	2回	2回	2回	2回
		2回	-	-	-	-
ニュースポーツの紹 介を兼ねた競技会 (講習会の開催)	1回	1回	1回	1回	1回	1回
		3回	-	-	-	-

【施策16】生涯スポーツ推進のための環境・体制の充実

施策を構成する取組群

◎総合公園内体育施設の管理運営・利用促進
 ◆市民参加型スポーツの推進・普及（再掲） ◆スポーツ指導者の資質向上・養成

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組16-1：総合公園内等体育施設の管理運営・利用促進》 担当課：スポーツ振興課

【取組内容】

・総合公園内等体育施設について施設利用者が安全に快適に利用できるように管理・環境整備を行い、利用者の利便性、満足度を高めます。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 利用者アンケート における施設の総合 満足度が「満足・概ね 満足」の割合	77%	81%	82%	83%	84%	85%
		97%	-	-	-	-
K P I 利用者アンケート における「週1回以上 施設を利用」の割合 (※)	—	(81%)	43%	46%	48%	50%
		(89%)	-	-	-	-
I 体育館等スポーツ 施設の利用人数	91,220人	180,000人	158,800人	160,800人	165,600人	170,500人
		141,002人	-	-	-	-

※R5年度から指標を変更。

R4年度時点の指標は“利用者アンケートにおける「今後も施設を利用したい」の割合”。

【施策17】地域に密着したスポーツイベント開催による地域活性化

施策を構成する取組群

◎地域に密着したスポーツイベントの開催

取組名の前の「◎」は、重点的な取組として目標指標を設定する取組です。

《重点取組17-1：地域に密着したスポーツイベントの開催》 担当課：スポーツ振興課

【取組内容】

- ・総合公園から長井・稲童を經由し自衛隊築城基地周辺を使用する「ゆくはしシーサイドハーフマラソン」を開催します。
- ・子どもから高齢者まで様々なライフステージに応じたスポーツイベントを企画するなどして、スポーツの振興を図り、地域活性化へ繋げていきます。
- ・新しい生活様式に即したスポーツ大会・イベントの在り方の検証を行うとともに、大会中止の際の代替イベントの企画・検討を行います。

【目標指標】

指標	R2年度実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
K G I 大会に参加することで、行橋市の魅力を感じた人の割合（ボランティア・審判含む）	中止	86%	87%	88%	89%	90%
		85%	-	-	-	-
K P I 次回大会も参加したい人の割合（ボランティア・審判含む）	中止	86%	87%	88%	89%	90%
		91%	-	-	-	-
大会運営について満足した人の割合（ボランティア・審判含む）	中止	86%	87%	88%	89%	90%
		80%	-	-	-	-